※令和３年度以前入学生用

| 学校番号 | T3015 |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「書Ⅰ」　（教育図書） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

## 2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

| 月 | 題材名 | 学習内容・活動 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 4<br>5 | １書へのいざない | ・書道の学習<br>・姿勢・執筆法を身につけよう<br>・調和良く書いてみよう | ○<br>○ | <br>○ | <br><br>○ | ○<br><br>○ | a:書写と書道の共通性と相違や姿勢や執筆法の基本を理解する。<br>b:基本的な姿勢・執筆法身につけ、漢字と平仮名の調和と配列について工夫している。<br>c:漢字と平仮名の調和について的確に表現を工夫している。<br>d:身近なくらしの中での書の実用書式を理解している。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| 6<br>7<br>8<br>9<br>10 | ２漢字の書の学習 | ・古典に学ぼう<br>・楷書の古典に学ぼう<br>・漢字の書を創作しよう | ○<br>○ | ○ | <br><br>○ | <br>○<br>○ | a:漢字の書の変遷について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。<br>b: 楷書古典の臨書学習により，点画や線質の表し方，用筆法・運筆法に基づいて構想し、表現を工夫している。<br>c:書の特徴を理解し，用具・用材や形式，構成などの表現方法を工夫し，作品を制作する。<br>d:さまざまな漢字の古典を鑑賞し，自らの鑑賞力を深める。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| 11<br>12 | ３仮名の書の学習 | ・仮名の基本を学ぼう<br>・仮名のリズムをつかんで連綿を書こう<br>・仮名の書の創作をしよう | ○<br>○ | ○<br>○ | <br><br>○ | <br><br>○ | a:仮名の成立と変遷，種類について関心を持ち、仮名の書の美しさと特徴を理解する。<br>b: 仮名独特のリズミカルな運筆を理解し、表現を工夫している。<br>c:自らの思考や感動を表現できる語句を選び，作品を制作する技能を身に付け表している。<br>d:さまざまな仮名の古典を鑑賞し，感じたことを話し合い，自らの鑑賞力を深める。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| 1<br>2<br>3 | 漢字仮名交じりの書の学習 | ・創作しよう<br>・古典に学ぼう<br>・自分らしい表現を求めて | ○<br>○ | ○<br>○<br>○ | <br><br>○ | <br><br>○ | a:書の幅広い表現方法を理解し、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。<br>b:書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。<br>c:書写で身に付けた技能を生かして創造的な書を表現している。<br>d:創作した作品を生徒同士で鑑賞しあう。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※令和３年度以前入学生用

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。